

< 歯根端切除術. 術後の注意事項 >

1. 術後、当日の注意

食事：麻酔がきれるまで食事はしないで下さい。今日は噛みやすく軟らかいものを摂って下さい。

歯みがき：今日は中止し明朝から傷口以外は OK です。明日から 1 週間、毎食後に塩水などうがいするのは推奨されます。

入浴・運動・飲酒：体を温め血流が良くなって腫れや痛みがひどくなる場合があります禁止です。軽いシャワーなら OK。明日から症状が強くなければ OK です。

2. 痛み：1～2 日間あり鎮痛剤を飲むことで治まります。麻酔がさめてきたら痛みが出る前に 1 回目の鎮痛剤を飲んで下さい。2 回目以降は 4 時間以上あけて痛みが出た時に飲んで、痛みが出なければ飲まなくていいです。まれに空腹時に飲むと胃腸障害が出る事があるので食事や飲み物と一緒にお願いします。

3. 出血：1～2 日間、傷口からじわじわと出血がありますが異常ではないです。

4. 腫れ：通常は 4～7 日間、歯茎や口の周り、頬が腫れます。腫れは嚢胞の大きさに比例します。手術翌日には腫れは目立たず、術後 2～3 日目をピークに増強しその後は徐々に回復します。

5. 抗菌剤：術後の感染予防のために服用してもらいます。湿疹・胃痛・下痢など副作用が出た場合は中止し当院に連絡下さい。以前に薬のアレルギー症状が出た方、胃薬や整腸剤をご希望の方は申し出下さい。

6. 皮下出血：まれに 2～3 日後、唇や口周り皮膚が紫色や黄色になる場合があります。手術部からの内出血によるもので 1～2 週間で自然に消失します。

7. しびれ感や違和感：手術部の歯茎周囲に、麻酔が効いたようなしびれ感・違和感・圧迫感が出ますが、手術に伴うもので徐々に回復します。下 4.5.6.7 番の手術で歯根病巣が大きくて神経に近い場合は、まれに下唇やその下の皮膚にしびれ感（知覚麻痺）が生じることがあります。適切な処置と神経回復治療薬を処方します。

8. 傷口と縫合糸：傷口を触ったり唇を引っ張って無理に見ようとしないで下さい。切開部が開いて治りが悪くなることがあります。抜糸までに縫合糸が 1～2 本取れても心配ありません。

9. 感染：術後に感染を起こし痛みや腫れが生じることがあります。上 5.6.7 番の奥歯の手術で病変が上顎洞に近い場合、上顎洞炎のリスクがあります。適切に治療します。

10. 経過：術後翌日に洗浄・消毒処置をして腫れや痛みの経過をみます。術後の通常不快症状は 1 か月程度です。当院での定期経過観察は術後 2 か月、6 か月、1 年です。1 年後に症状とレントゲンで病変の消失や骨再生をチェックして、完治か再発かの治癒状態を確認することは重要です。

11. 成功率と再発について：当院の成功率は 90% 以上です。残念ながら再発もあり、原因は歯根亀裂や歯根そのものの腐敗（感染歯質：長期に膿の中に浸かっていたため）です。その発見や治療は困難な場合もあり、再発した場合は再手術や抜歯になることをご了承ください。逆根管充填をしない術式は再発率が高いので注意が必要です。

< 遠方から来る患者さんの流れ >

1. 歯根端切除術。（地元歯科に診療情報・抜糸依頼の紹介状を書きます。紹介先を教えてください。術前・術後のレントゲンをスマホ撮影しておきます）

2. 翌日に洗浄消毒、経過チェックをします。（前歯で術後症状が軽い場合は洗浄いりません）

3. 術後 7 日目に抜糸して下さい。

4. メールで経過報告。（術後 1 か月、2 か月に痛みや腫れなどを教えてください。もし再発があるとすれば 1 か月前後、2 か月後になにも無ければほぼ手術は成功です） kasachan262@yahoo.co.jp

5. 術後 6 か月と 1 年に部分的なデンタルレントゲンを撮りスマホ写メール下さい。

1 年後にレントゲンで治癒チェックを行い完治を確認することは大切です。可能なら来院下さい）